



## 4. 期日

### 【事前キャンプ】1泊2日

令和7年7月5日(土) 9:30 ~

7月6日(日) 14:30 解散予定

参加者/子供とその保護者

会場/国立妙高青少年自然の家

### 【本キャンプ】7泊8日

令和7年7月27日(日) 9:00 ~

8月3日(日) 12:30 解散予定

参加者/子供のみ ※開会式と閉会式には、保護者も参加していただきます。

・詳細は事前キャンプで説明します。

## 5. 募集対象

小学校5年生から中学校3年生までの男女(定員14名)

### 【参加条件】

- 申込み二次元コード内の「2. 本事業の参加に当たって」全てに同意すること。
- 事前キャンプと本キャンプに両方参加すること。
- キャンプを最後までやり通す健康状態であること。

## 6. 参加経費

55,000 ~ 60,000 円程度

(食費、宿泊費、活動費、傷害保険料等)

※詳細は、参加決定後文書にてお知らせします。

## 7. 申し込み方法

○申込み用二次元コードから、保護者の責任において、必要事項を入力ください。

- 参加者情報、動機、配慮する事項など
  - 「2. 本事業の参加にあたって」をよく読み、同意される項目をチェック
- ※記入漏れ、同意を確認できない等の場合は、参加ができません。

○申し込み締め切りは、6月22日(日) 12:00 必着です。

○応募多数の場合は、抽選を行います。新規参加者を優先し、学年男女比を考慮します。

○参加の可否は、申し込み締め切り後1週間ほどで連絡いたします。参加決定者には、事前キャンプの案内を送付いたします。

### 申し込み URL:

<https://forms.office.com/r/pyfqiuzmNK>



### お問い合わせ

〒949-2235  
新潟県妙高市大字関山6323-2

独立行政法人国立青少年教育振興機構  
国立妙高青少年自然の家  
MYOKO ネクサスキャンプ 2025 (担当 山田)  
TEL 0255-82-4321  
MAIL myoko-sen@niye.go.jp



仲間とともに創る、  
世界に一つだけのキャンプ。

令和7年度

# MYOKO NEXUS CAMP 2025 ネクサスキャンプ

### 日程

本キャンプ【7泊8日】

7.27 SUN 8.3 SUN

事前キャンプ  
【1泊2日】

7.5 SAT 7.6 SUN

参加対象 小学校5年生～中学校3年生  
(定員14名)

申込締切 6月22日(日) 必着

<https://myoko.niye.go.jp>

募集要項ダウンロードできます



子供たちがICT機器等を活用して、ルート選択、食材の買い出しなどの計画を立て、「歩き」「登山」「野外炊事」「テント泊」など、8日間で様々なチャレンジをします。共通の目標に向かって一人一人が考え、合意形成を図りながら他者と協働することを通してこれからの自分について考えます。

### 総合型長期キャンプ

様々な個性や特性をもつ子供たちが、性別や障がいの有無等に関係なく、自然への挑戦や他者との協働を通して、お互いを認め合い、成長し合っていくことをねらいとしているキャンプです。



### 支援体制

国立妙高青少年自然の家  
スタッフ、学生スタッフ、  
臨床心理士が帯同します。



# MYOKO NEXUS CAMP ネクサスキャンプ 2025

仲間とともに創る、  
世界に一つだけのキャンプ!

## 統合型長期キャンプ

様々な個性や特性をもつ子供たちが、性別や障がいの有無等に関係なく、自然への挑戦や他者との協働を通して、お互いを認め合い、成長し合っていくことをねらいとしているキャンプです。

### 1. 趣旨

自然豊かな妙高青少年自然の家の立地を生かし、「仲間とともに創るキャンプ」をねらいとして行います。ICT等を用いて情報を集め、参加者で宿泊場所、そこまでのルート、野外炊事の内容等について話し合い、自分たちの行動計画を、意見を出し合いながら作成し、それを基に行動します。自分たちで炊事道具やテント等のキャンプに必要な道具をリヤカーに載せて持ち運びます。また、子供同士がつながり、協働し合うチャレンジの場として、火打山、妙高山の縦走登山も行います。仲間とともに考え、合意形成を図りながら目標を達成する体験を通して、主体性を育み、これからの自分について考えていく子供たちを後押ししていく7泊8日のキャンプです。

「仲間たちとともに様々なことを決めて行動してみたい!」「ICT等の機器を使って他の参加者と一緒に達成感を味わいたい!」「登山やキャンプに挑戦したい!」「自然体験に興味や関心がある!」「自然大好き!」「自分に自信をつけたい!」「悩みを解決するきっかけにしたい!」など、様々な思いをもった子供たちの参加を待っています。また、本事業はいじめ・不登校・ADHD等の発達障害・ネット依存などに関する子供たちを取り巻く今日的課題を支援する事業でもあります。

このキャンプは、スーパーバイザーとして、臨床心理士でもある筑波大学教授の坂本昭裕氏のご指導のもとに実施します。キャンプの全日程に、自然の家スタッフ、同大学スタッフが帯同します。参加した子供たち全員の安全を確保するとともに、お互いを尊重し合い、支え合い、成長し合える環境を作るとともにたくましい心身の成長を支援していきます。

### 2. 主体性について

本事業では、下記の活動を通じて主体性を育てていきます。

- 共通の目標に向かって、一人一人が考え行動する。
  - ・ICT機器等を活用した情報収集
  - ・行動計画の計画の作成
  - ・計画を基にした行動
- 合意形成を図る中で、互いに尊重し合い仲間と協働する。
  - ・宿泊地、ルート、食材等の決定
  - ・リヤカーで必要物品の運搬
  - ・宿泊地のルールの順守

また、MYOKO ネクサスキャンプにおける一人一人の変容を、行動観察や日々の振り返り、アンケートの記述から見取ります。

### 3. 体調不良者の対応

- テント泊では、4人用テントに2人ずつで泊まります。事前キャンプでは、家族単位でテント泊を行います。
- 野外炊事においては、調理前、食事前には、手指の消毒を行います。
- 就寝前、起床後の体温測定・健康観察を行います。発熱や体調不良等の症状がある場合は、活動に参加できません。その際は保護者の方に連絡をさせていただきます。また、体調不良者の状況を見て、キャンプ全体として中止をする場合もあります。

## 地図で見る MYOKO NEXUS CAMP ネクサスキャンプ2025



ステージ・期日	主な活動内容	活動のねらい
<b>出会いのステージ</b> 7月5日(土)~7月6日(日)	○開会式・全体会 ・キャンプのねらい ・本キャンプの活動内容や持ち物・装備 ・安全にキャンプを行うために注意事項 ・ICT機器の利用の仕方 ○テント設営・野外炊事 ○テント泊 ○スタッフとの事前面談	・初めて会ったメンバーで活動に取り組む。また、活動内容等の話を聞く中で、長期キャンプへの意欲を高める。
<b>創造のステージ</b> 7月27日(日)~7月28日(月)	○行動計画作成(自然の家) ○野外炊事 ○テント泊	・行動計画を作成したり準備をしたりする活動を通して、メンバーのことを知り、協働し合おうとする。
<b>つながりのステージ</b> 7月29日(火)~7月30日(水)	○歩き(自然の家から宿泊場所) ○歩き(宿泊場所から笹ヶ峰) ○野外炊事 ○テント泊	・持ち物を運んだり、自然の家とは異なる場所で活動したりすることにより、メンバーのことを考えながら協働しようとする。
<b>挑戦のステージ</b> 7月31日(木)~8月1日(金)	○火打山登山 ○ヒュッテ泊 ○妙高山登山	・困難な状況であっても、グループの仲間と声を掛け合い、助け合いながら活動する。
<b>未来につなげるステージ</b> 8月2日(土)~8月3日(日)	○後片付け ○振り返り(個人・グループ) ○ゴールパーティー企画・実施 ○閉会式	・これまでの活動を振り返り、仲間への感謝の気持ちをもつとともに、これからの自分について考える。

※活動内容は、下見の結果や当日の天候、参加者の体調等の状況で変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



令和7年度 開催要項  
**MYOKO ネクサスキャンプ2025**  
～仲間とともに創る、世界に一つだけのキャンプ～

## 1 趣 旨

### (1) 国や機構の方向性

令和5年6月16日に閣議決定された「第4期教育振興基本計画」では、現在の社会の現状は、VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑化、曖昧性）と言われ、将来の予測が困難な時代となっているとされている。変化の激しい社会に対応できるよう、情報を集めたり、自らで考えたりする力等が必要とされている。併せて、子供たちが未来を切り拓き、社会の創り手となり、持続的な発展に貢献できるための教育の在り方が必要とされている。これからの日本の未来において、主体的に自分の意思を決定する力、多様な人々と意見を聞くなどして、合意形成を図る力の育成が求められている。

### (2) 国立妙高青少年自然の家の考え

本事業は、一人一人が考え行動し、他者と協働しながら、互いを尊重し合い成長していく経験を通じて、主体性を育むことをねらいとする。第4期教育振興基本計画の「主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成」の理念をベースに、これまでの長期キャンプを通じて妙高青少年自然の家が蓄積してきたノウハウを土台とし、統合型キャンプとして実施する。

また、統合型キャンプとは、心理的な課題や発達障害などを含む様々な個性や特性をもつ子供たちが、性別や障害の有無等に関係なく、自然への挑戦や他者との協働を通して、成長し合えるキャンプである。

## 2 本事業のねらい

### (1) 参加者の「主体性」を育成する。

本事業では下記の活動を通じて「主体性」を育成する。

○共通の目標に向かって、一人一人が考え行動する。

・ICT機器等を活用した情報収集 ・行動計画の計画の作成 ・計画を基にした行動

○合意形成を図る中で、互いに尊重し合い仲間と協働する。

・宿泊地、ルート、食材等の決定 ・リヤカーで必要物品の運搬 ・宿泊地のルールの順守

### (2) 参加者の変容等を調査し、その効果について普及する。

・主体性の測定評価尺度（アンケート）と質的側面の評価（日記や実際の姿）から見取る。

・各学校の集団宿泊活動や青少年団体でのキャンプでも可能な、ねらいに即した具体的な活動を発信する。

### (3) 学校生活などで様々な課題を抱える子供たちと周囲の子供たちへの支援に資する。

いじめ・不登校傾向・発達障害・ネット依存などの課題を抱える子供たちの参加を促す。充実した学校生活を送れるように、確かな力を育成することに加え、課題を抱える子供やその周りの子供たちへの効果的な支援のあり方を検証し、学校現場へ発信していく。

- 3 主催** 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家
- 4 後援** 新潟県教育委員会、妙高市教育委員会、上越市教育委員会、糸魚川市教育委員会（予定）
- 5 期間** 事前キャンプ 令和7年7月 5日（土）～7月 6日（日）【1泊2日】  
※保護者・子供参加  
本キャンプ 令和7年7月27日（日）～8月 3日（日）【7泊8日】  
※子供のみ参加、保護者は開・閉会式に参加
- 6 会場** 国立妙高青少年自然の家、笹ヶ峰キャンプ場、火打山、妙高山、高谷池ヒュッテ  
なお、1泊は妙高市の施設でテント泊の予定
- 7 対象** 小学校5年生から中学校3年生の男女 合計14名

## 8 運営組織（事業開発プロジェクトチーム）

### （1）外部委員

- ・坂本 昭裕 氏（筑波大学教授） =MYOKO ネクサスキャンプ 2025 スーパーバイザー
- ・植木 潤 氏（国際自然環境アウトドア専門学校副校長）
- ・瀧 直哉 氏（信州大学准教授）

### （2）内部委員

- ・国立妙高青少年自然の家 企画室、教育プログラム指導室

### （3）関係諸機関

- ・新潟県教育委員会
- ・市町村教育委員会
- ・新潟県内適応指導教室および児童相談所・不登校親の会など
- ・宿泊施設

## 9 募集人員 及び 申込について

- （1）申込期限 6月22日（日）12：00まで
- （2）申込方法 web フォームで申込  
申込 URL： <https://forms.office.com/r/pyfqiuzmNK>
- （3）定員 小学校5年生から中学校3年生の男女 合計14名



二次元コード

## 10 参加経費

55,000円～60,000円程度（食費、宿泊費、活動費、傷害保険料等）

## 1.1 日程

期日	主な活動内容	活動のねらい
<b>出合いのステージ</b> 7月5日(土)～ 7月6日(日)	○開会式・全体会 ・キャンプのねらい ・本キャンプの活動内容や持ち物・装備 ・安全にキャンプを行うために注意事項 ・ICT 機器の利用の仕方 ○テント設営・野外炊事 ○テント泊 ○スタッフとの事前面談	・初めて会ったメンバーで活動に取り組む。 また、活動内容等の話を聞く中で、長期キャンプへの意欲を高める。
<b>創造のステージ</b> 7月27日(日)～ 7月28日(月)	○行動計画作成(自然の家) ○野外炊事 ○テント泊	・行動計画を作成したり準備をしたりする活動を通して、メンバーのことを知り、協働し合おうとする。
<b>つながりのステージ</b> 7月29日(日)～ 7月30日(水)	○歩き(自然の家から宿泊場所) ○歩き(宿泊場所から笹ヶ峰) ○野外炊事 ○テント泊	・持ち物を運んだり、自然の家とは異なる場所で活動したりすることにより、メンバーのことを考えながら協働しようとする。
<b>挑戦のステージ</b> 7月31日(木)～ 8月1日(金)	○火打山登山 ○ヒュッテ泊 ○妙高山登山	・困難な状況であっても、グループの仲間と声を掛け合い、助け合いながら活動する。
<b>未来につなげるステージ</b> 8月2日(土)～ 8月3日(日)	○後片付け ○振り返り(個人・グループ) ○ゴールパーティー企画・実施 ○閉会式	・これまでの活動を振り返り、仲間に感謝の気持ちをもつとともに、これからの自分について考える。

## 1.2 持ち物

- ・屋外で活動および宿泊に必要な道具
- ・テント泊(テント、シュラフ)、野外炊事(調理器具等)は、自然の家の物品を使用

※詳細は参加者決定後に直接連絡

## 1.3 個人情報の取り扱いについて

(参加申込フォームやアンケート等) ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット(ソーシャルメディアサービスを含む)等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物に記事・写真を掲載することもあります。

なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人(又は保護者)から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。